

顔の腫れと結膜炎症状を経験した成人アトピーの経過 (50 歳女性)

症例 ID：001-50-HY | 記録日：平成 14 年 7 月

1. 診断・治療前経過

10 年ほど前から目の赤みや乾きに悩み、眼科でアレルギー性結膜炎とされ、点眼薬を使用していました。漢方薬局の煎じ薬も試しましたが、変化はありませんでした。

3 年前、左頬にかぶれのような症状が出て皮膚科を受診し、ステロイド外用薬を処方されました。半年ほど経つと同じ症状が出て、ステロイドを使うことを 3 回ほど繰り返した後、顔全体、まぶた、唇が赤く腫れ上がりました。顔を冷やし、ビタミン剤を服用しながら、落ち着くまで約 1 年かかりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	左頬のかぶれ様症状に対してステロイド外用薬を使用し、その後も同じ症状が出るたびに使用を繰り返しました。
製品名	不明です。
強度	弱い薬と説明されましたが、具体的な強度は不明です。
使用期間	約半年ごとに同様の症状が出た際、3 回ほど使用しました。
中止時期	松本医院受診後はステロイドを使用しない方針となりました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
約 10 年前	来院前	目の赤みや乾きが続き、アレルギー性結膜炎とされました。
約 3 年前	来院前	左頬にかぶれのような症状が出て、ステロイド外用薬を使用しました。
その後	来院前	同じ症状が再発し、ステロイド使用を 3 回ほど繰り返した後、顔全体が腫れました。
松本医院受診後	治療開始	漢方薬を開始しました。
治療翌日	初期	目の赤みが大きく変化し、白さを感じるほどになりました。
9 か月後	経過後	顔の赤みも徐々に落ち着き、9 か月時点では症状が落ち着いた状態となりました。

4. ピーク時期

ピークは、ステロイド使用を繰り返した後、顔全体、まぶた、唇が赤く腫れ上がり、落ち着くまで約 1 年かかった時期です。

5. 困りごと

- 目の充血と乾きが長く続きました。
- 顔全体の腫れと赤みがあり、本人にとって大きな心理的負担となっていました。

- ・ 治療法を探す中で、情報が多く判断に迷う状況がありました。

6. 経過のまとめ

来院前には、目の充血と乾き、左頬のかぶれ様症状、顔全体の腫れを経験しました。松本医院受診後、漢方薬を開始し、翌日には目の赤みが大きく変化しました。

顔の赤みも徐々に落ち着き、9 か月後には症状が落ち着いた状態になりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。